



令和2年9月の園だより



くまの・みらい保育園



日時 9月12日(土)
9:00~11:00

場所 熊野町民グラウンド
(雨天の場合
熊野町民体育館)

雨天時の時間9:00~12:00
赤組9:00~
黄組10:00~
白組11:00~

今年の運動会はコロナウイルス感染拡大予防のため、幼児クラスのみで行います。プログラムは少ないですが、いつも遊んでいる姿を、元気いっぱいお見せできればと思います。熱中症対策をされ、楽しんでご覧下さい。



お年寄りを大切に

敬老の日は昭和41年から国民の祝日(9月15日)に加えられた祝日です。現在では、9月の第3月曜日に設定されています。

「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけでなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であるといえます。

園では、子どもたちに「おじいちゃん、おばあちゃんがいたから、お父さんお母さんが生まれ、自分たちがいるんだ」ということを伝えています。

お年寄りを尊敬する気持ちが育ってほしいと願っています。

子ども同士のトラブルの対応について

園庭には赤とんぼがたくさん飛び始め、今年は年少さんから年中さんまでが虫とり網を持って、トンボとりやバッタとりに夢中です。いつも以上に暑い日が続く、水あそびも延長して楽しんでおります。乳児クラスでは泡あそび、スポンジあそび、色水あそび、幼児クラスでも泥んこあそび、にじみ絵、シャボン玉、竹の中に水を入れて水の出方を楽しむあそびなど笑顔いっぱい、元気いっぱい夢中になって遊び込んでいる姿はキラキラ輝いて見えます。

卒園アルバムが完成し、昨年卒園した保護者の方が最近よくおいでになり、嬉しいお話をたくさん聞かせてくださっています。あゆみを持って来て見せてくださる保護者もいました。「先生、小学校の懇談で褒められたんですよ。」「うちの子、給食が全部食べられるようになったんです。」「お勉強も集中して頑張っていますよ。」「校長先生からも「今の1年生よくがんばっています。とっても落ち着いているんですよ。」とお褒めの言葉をいただき、とっても嬉しい気持ちです。卒園児さんの中には、アマビエの絵(疫病退散)を各クラス分描き、「コロナに気を付けてうがいや手洗いをしてください。」とお手紙や手作りのおもちゃまで持ってきてくれた子もいました。毎日廃材でいろんなものを制作して遊ぶことが大好きだったお子さんでしたので、そのプレゼントに込めた思いにとっても嬉しい気持ちになりました。

昨年の年長さんは、あそびの中で子ども同士のトラブルも多く、小学生になってどうしているのか心配もしておりましたが、様々なあそびの中での経験を通して、子どもたちの心も育ち、勉強に対する意欲も人を思いやる気持ちも育ってくれていることを実感しました。

反面、最近保護者の方から、お友だちとのトラブルを心配され、悲しい思いをされておられる方、噛みつきやひっかきをされ、心配されている方もおられます。保育園は子どもにとって楽しく、保護者にとっては、安心できる場所ではなくてはならないのに、申し訳なく思います。子ども同士のトラブルにはいろいろなケースがあります。小さいお子さんですと言葉がまだうまく出ず、おもちゃや場所のとり合いなどでひっかいてしまったり、噛みついてしまうことがあります。噛みついてしまった子には、「このおもちゃがほしかったんだよね。でもね・・・」と代弁して伝えていきます。噛まれた子には、冷たいタオルで冷やしながらかつたね。ごめん

ね。」とけがの手当てをして、痛い思いを共感していきます。まれに大きいお子さんの中にも手が出てしまったり暴言を吐いたりするお子さんもいます。少し我慢ができたり、言葉で自分の思いが言えれば、なくなるはずなのです。そんな時には、その子を落ち着かせてから「どうしたの。何が嫌だったの。」と、しっかりその子のお話を聞いて、気持ちを理解してあげます。「でもね、それは〇〇君は痛かったと思うよ。」「どうしたらよかったかな。」と保育士の思いを伝え、一緒に考えていきます。しかし、けがをさせられた保護者の中には「相手の親には伝えないのですか。」という方もおられます。園では、成長過程におきる、子ども時代の特有のけんかやけがは、悪質でない限り、園の責任として、保護者には相手の名前は知らせません。その他のケースで、何もトラブルがない時に、友だちをつきとばしたり、たたいたりする子どもさんもおられます。その場合は、保護者に様子を聞きながら、その子の為に家庭でしていただくこと、園で出来る事を話し合い、どの子どもも安心して過ごせるようにします。そして同時に、子どもたちにとって楽しく、集中して遊べる環境であったかを見直していきます。各クラスの職員は、「今、このあそびで楽しんでいるから、もっと遊び込めるように、こんなものを用意してみよう。」「落ち着ける空間でなかったのかもしれないから、次はこんな環境にしてみよう。」など、日々保育を振り返り、試行錯誤しているところです。一人ひとりの個性を大切に、お友だちとの関わり方も伝えていながら、「楽しい保育」に向けて取り組んでいきますので、もう少し時間を頂けたらと思います。ご理解のほどよろしくお祈りします。卒園児さんのように、しっかり遊びこむことで、小学校へ行っても勉強に集中できたり、人を思いやる優しい気持ち、自分で考えて実行できる主体性が育ってくれることを願っています。

竹の滑り台が完成しました。子どもたちはどこに手をかけ、どこに足を置けばいいか、考えながら慎重に滑ることを楽しんでます。運動会の取り組みも始まっています。クラスで話し合いながら日頃のあそびが運動会で少し形をかえて保護者の皆様にお見せ出来たらと思います。コロナウイルス感染拡大予防、熱中症対策もしながら、子どもたちにとって一度しかない今年の運動会が楽しいものになればと思います。

あそびはつづくよどこまでも



いいおとがするね!



たけからふんすいみたいにみずがでてるよ!

しっかりつかまってすべるよ



とこ先生や職員が竹を使って滑り台、音の鳴るおもちゃ、竹に穴をあけたものを園庭やテラスに設置しました。「なんだか竹ほいくえんみたい!」と、とても喜んでます。自分たちで考え、工夫して、あそびが広がっていけばと思います。

秋の七草

「秋の七草」とは、はぎ、おばな、ききょう、なでしこ、くず、ふじばかま、おみなえしです。特別な行事はありませんが、草花を見ることを楽しむ機会にしてみましよう。

※保育園の萩のトンネルも、花が咲きすてきなトンネルができていますよ。

秋分の日



「先祖を敬い、亡くなった人々を慰む日」として制定されました。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。この日ははさんで1週間を「彼岸」といい、お墓参りなどして先祖を祭る習慣があります。